20231220　京都地裁　原告意見陳述

原告　原　龍治

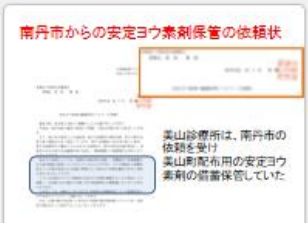
（1）自己紹介

① 私は本訴訟の原告で左京郵便局北側の赤ノ宮神社付近に住んでいます原龍治です。大学卒業後、事務職員として京都市内の医療機関で 1997 年まで働きました。その間、1985 年から 12 年余り京都医療労働組合連合会の役員専従をし、1997 年現場に戻った後 1999 年京都市内で保険調剤薬局会社を立ちあげ 2015 年 3 月まで法人役員を務めました。

② 2015 年 4 月から 2021 年 3 月末までは、UPZ 圏内にある医療法人財団美山健康会(美山健康会)の理事、美山診療所事務長を 6 年間務めました。初めの 1 年余りは国道 162 号線を通じて毎日片道 50ｋｍ往復 100ｋｍの通勤をしていましたが、早朝に出勤する負担が大きく 2 年目の途中からは週 3 回美山に泊まる生活をしていました。

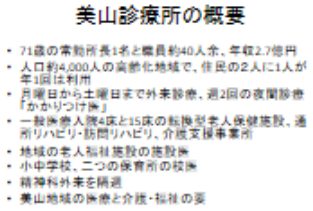
③ 2021 年 4 月に南丹市へ業務承継を行い、美山診療所業務の多くは、「南丹市国民健康保険南丹みやま診療所」に引継ぎました。その後は、医療法人財団解散業務の清算人を務め、現在は、働く人の心の健康を支える事業を展開する NPO メンタルサポート京都の常務理事をしています。

④ 美山診療所は UPZ 圏域内にあるため、2015 年 7 月 28 日綾部市で開催された「UPZ 圏内医療施設･社会福祉施設の職員を対象とした原子力災害対策研修会」に参加しました。南丹市が美山町住民の要求に応えて公立南丹病院（現、中部総合医療センター）に一括保管されていた安定ヨード剤を美山地域に保管する決定をし、2016 年 8 月、南丹市から美山健康会への要請に応え、私を保管責任者として美山診療所内保管庫で管理していました。図の赤矢印の先の点が美山診療所です。また、2016 年 9 月 4 日京都府総合防災訓練の原子力防災訓練災害時要配慮者の避難訓練に｢福祉車両に乗って｣参加しました。



⑤ これらの経験を踏まえて、特に山と谷深い中山間地にある美山の道路状況を体験した立場から、原発事故が発生した場合の避難計画が如何に現実離れしたものかをお伝えし、原発の稼働を直ちに差し止めるべきだとの意見を述べます。

（2）美山診療所と美山地域の概要



① 着任時の美山診療所は、71 歳の常勤所長 1 名を中心に職員は非常勤を含めて約 40 人余で、人口約 4,000 人余で高齢化が進む美山地域に於いて、住民の 2 人に 1 人が年 1 回は利用していました。所長の前任病院の医師や大学病院の医師に週末の診療業務の協力を得て、美山では唯一月曜日から土曜日まで外来診療を行い、日中通院できない働き盛りの

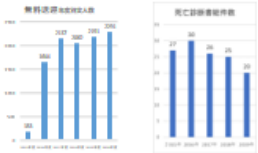
患者さんにも週 2 回の夜間診療で対応し「かかりつけ医」の役割を果たし、一般医療入院 4 床と 15 床の転換型老人保健施設、通所リハビリ・訪問リハビリと介護支援事業所を持ち、地域の老人福祉施設の施設医と小中学校、二つの保育所の校医も引き受けていました。更に、京北保健所の廃止時に地域の精神科家族会の要請を受けて開始した精神科外来を隔週で行い、文字通り、美山地域の医療と介護・福祉の要の役割を担っていました。

② 美山診療所の患者さんを、地区別に見れば美山診療所の地元である平屋地区と西に隣接する宮島地区、東に続く知井地区の利用率が高くなっています。和知診療所に近い大野地区と、距離が遠く林健センター診療所がある鶴ヶ岡地区はやや少なくなっています。

住民と受診者の割合

住民と患者さんの比率を示したグラフです。
高齢者程受診率が高くなります。元気で運転ができる間は遠くの医療機関にかかって、運転できなくなると美山診療所を受診する人が増える。交通事情の悪さの反映です。又、美山には居住系の老人福祉施設が 4 種類 5 施設あり、計 118 名定数一杯の入所者がいて、この施設管理医でもあり、年間の死亡診断書の発行数はグラフ右の通りです。美山の在宅と施設で最期を迎えられた多くの方の死亡診断書を発行させて頂いていました。

患者さんは交通弱者が多い



③ 美山で直ぐに取り組んだのが、2015 年 12 月から開始した通院の足を確保する患者さんの無料送迎です。左のグラフの通り平均して月 180 人、年間のべ 2000 人を超す患者さんが利用していました。美山の各地域から診療所まで、遠いところでは約 25km 余りあり、車で山道を 40 分以上かかり、患者さんは急に体調が悪くなっても通院する手段がなく、我慢するという実態がありました。患者さんは定期通院の際には、一日数本しかない市営バスを使うか、近所の方の自家用車に同乗して通院されていました。地域の方に大変喜ばれ経営的にも貢献しました。

美山は広く
山も谷も深い！町までが遠い！
雪が降る！雨風で倒木！陸の孤島

◎買い物、役所、受診、入院
★高齢者の移動に困難が多い
★生活道路(旧道)は狭い
★バスの運行本数が少ない

（3）美山地域の特徴：「美山は広く」「山も谷も深い」「町までが遠い」「雪が降る」「雨風雪で倒木」「陸の孤島」
① 都市部に住む者からすると、広さから来る距離感の違いと移動手段の重要性の認識です。「すぐそこ 32km」というスーパーの看板があり、着任しときは不思議な感覚でしたが、直ぐ納得できました隣の集落まで片道 4.5km あり、自動車がないと、美山では生きていけません。それ故、中山間地で自動車を利用できないお年寄りの通院手段、移動手段を確保することの重要性は極めて大きいと感じました。

② もう一つは、山と谷が深いことから普段から、雨が降っても風が吹いても雪が降っても、直ぐに通行止めになり、停電が起こるということです。京都から美山までの国道 162 号線で片道 50km の通勤をした経験から、梅雨時の大雨、台風は勿論ですが、少し強く雨が降ったり風が吹くと、ちょくちょく倒木や土砂流出で止まります。162 号線は高雄から京北周山までの山道と京北から美山への深見峠で 150mm の雨で通行止めになります。その場合は、京都縦貫道から亀岡、園部を通り、府道 19 号線を迂回していました。

③ 美山の地理的特徴は広さです。

・面積は、340.47 平方キロメートルで、京都府面積の７％、南丹市面積の５５％もあります。福井県と滋賀県に隣接する山間地です。

・美山町の東、芦生から、西の大野ダムまでは約５０Km あります。

・この地図は、前の美山町の地図と同じ縮尺です。

　美山町の東西は、大津市と亀岡市との距離約５０Km と同じです。

④ 地理的特徴は、深い谷と洞です。

・美山は、芦生の原生林を源流とする由良川とその支流が削った由良川水系の細く深い谷と盆地があります。

・道路は、山あいの川沿いを縫うように走っています。

・三国岳、頭巾山、長老山など、800 - 900 メートル級の連山に囲まれ、

・由良川が東の芦生原生林を源として、美山町の中央部を東から西へ流れています。

⑤ 美山町には鉄路はありません。

美山は周囲を山で囲まれた地理的に隔離された地域です。美山の外部に通じる道路で車が通行できるのは、５ルートです。

一つは、美山町から北へ堀越峠を越え、福井県おおい町名田庄へ向かう国道１６２号線❶。これは原発事故時には使えません。

二つは、同じ国道 162 号線❷で深見峠を越え京都市右京区京北町に繋がる赤色のルートです。

三つは、上平屋から南へ原川の谷に沿って原峠手前の神楽坂トンネルを抜け日吉を経由して園部に至る府道 19 号線❸。

四つは、西へ繋がる府道 12 号線❹。宮島から大野を経て大野ダムを経て京丹波町和知へつながります。

五つ目は府道 38 号京都広河原美山線❺で、安掛から由良川に沿って茅葺きの里で有名な知井地区を通り、佐々里を通り佐々里峠から京都市左京区広河原へ抜ける道路です。

・平常時の美山を通る大型トレーラーを含む車輌の流れは、福井県から 162 号線❶を通り府道 12 号線 ❹から旧美山町役場前を通り府道 19 号線❸に抜け、神楽坂トンネルを抜け日吉経由で園部方面へ向かう(その逆も)のが一般的です。

⑥ しかし、❺番目の府道 38 号線については、積雪のため冬期は全面通行止めになります。冬場の約 5 か月間は、美山から久多へは通行不能で、原発事故が起こっても脱出（避難）できません。従って、図の「星印」は府道 38 号が 162 号線とつながる美山診療所のある「道の駅」ですが、ここよりより東にある、平屋地区の大久保と知井地区の住民が、冬場に移動に利用できるのは府道 38 号線だけです。

美山界隈の
冬の道路状況

（4）冬の道路状況

① 降雪、積雪のある時期は、こんな感じの毎日になります。
除雪が行われますが、幹線道路を優先するので、この写真のように「旧道」である生活道路の除雪は遅くなります。
除雪車が通ると、道路と私宅通路の境目には「雪の壁」ができます。
この写真は、朝診療所の職員がデイケアー（通所リハビリ）の利用者を迎えに行った時のスナップです。

② ここで紹介する写真は、私も参加している Facebook グループ「162 地域と京都市以北の道路情報」からの写真です。

・投稿者は「2023 年 1 月 29 日、神楽坂トンネル手前倒木。通行止めの看板が出てます。除雪入って無い為 4wd 車以外は厳しいです。電線、電話線に引っかかっていて危険です。」とコメントしています。

・2023 年 1 月 31 日深見峠、深見峠危険です。
車高の高い車は通行不能です。とのコメント付投稿
・2023 年 1 月 28 日午後 3 時現在
府道 19 号園部平屋線、神楽坂トンネル日吉側は普通車は
木の下をくぐり通れますが、大型車は通行できません。ご注意ください。とコメント。
倒れた木が電線に引っかかっていて、危険です。

・「2023 年 1 月 28 日 18 時時点 下中交差点
国道 162 号線深見峠は倒木処理がまだ終わっていません。
また、美山側には立て看板や電光掲示板には何も出ていませんのでご注意ください。」とコメント。

・これも「2023 年 1 月 28 日 162 号線　ミヤマ名水運搬トラックがスリップして、道を塞いでいる」と投稿
・次は「2023 年 1 月 28 日京北から美山方面は現在行けません。
深見峠は倒木、日吉園部方面はトラックがふさいでいます。
写真は佐々江のきつね坂付近です。」との投稿です。

（5）美山界隈の降雨時の道路状況
美山周辺の道路状況の困難さは、雪に限りません。

美山界隈の
降雨時の道路状況

① 先程紹介した❺番目の府道 38 号線は、積雪のため冬期は全面通行止めです。
冬場の約 5 か月間は、原発事故が起こっても通行できません。
ところが、頼りの府道 38 号線が、昨年 2022 年 1 月 18 日昼、芦生の入り口から約 100m美山寄り付近でのり面の大規模な土砂崩落で全面通行不能になり、美山側への通行ができなくなりました。

・2022 年 1 月 18 日の京都新聞ニュースデジタル版です。
「18 日午前 1 時半ごろ、京都府南丹市美山町芦生の府道京都広河原美山線で、のり面が長さ 50 メートル、高さ 30 メートルにわたって崩落した。
冬期間、芦生と白石、佐々里へ通じる唯一のルートが閉ざされ、孤立した。
急遽、冬期通行止めとなっている府道 38 号線佐々里峠の緊急除雪を行い、交通路を確保した。」

・これは、京都府南丹土木事務所が作成した崩落現場の復旧工事の進捗状況の報告です。
1 月 18 日に土砂崩れが発生し、仮設道路の開通は 3 月中旬でした。
それまでの 2 ヶ月間は、本来積雪で通行止めの府道 38 号線を通り、佐々里峠を経由し京北回りで行き来していました。

・これは今年 2023 年 4 月 7 日現在の土砂崩落復旧工事の現場写真です。
右の作業員のサイズと比較すると、崩落の規模が判ります。
この地域には在宅療養をされている患者さんも約 10 人おられ、3 月中旬に仮設道路ができるまでの間、京北周山経由での遠回りの往診は、冬場の佐々里峠は除雪されていたが、急坂での路面凍結もあり、往診が大変だったと診療所長から伺いました。道路が使える状況になるまでは全く孤立していました。
原発事故で避難指示が出されても、避難のしようがありません。

・グーグルマップの表示では 2023 年 5 月現在工事中でした。
全面開通は今年の 7 月でした。
大規模崩壊だったので、復旧まで 1 年半掛かりました。

・こちらは、2017 年 1 月に 162 号線小野郷から中山までの区間で崩落した現場です。Facebook からです。
「2017 年 1 月 19 日(第 2 報)
国道 162 号線の通行止め解除について
本日、午前 5 時から、片側交互通行が可能となりました。
国道 162 号線、京都市北区小野郷中学校前 →京都市北区中山橋、土砂崩れ、片側交互通行。片側相互通行ですので、安全運転で、お通り下さい。」

・これは、同じく間で起きた 2018 年 5 月の崩落現場です。
このように、山間部の道路でのり面の崩落は珍しくはありません。

https://www.facebook.com/groups/157004798284884/北区役所職員と思われる投稿です。

「2018 年 5 月 14 日　大雨により、昨晩の 21 時前に、国道 162 号線の北区小野郷と中川間で倒木があり、現在も、北山グリーンガーデンバス停南のところで、片側交互通行となっています。　朝から、松本北区長、片木総務・防災課長とで、現地確認を行いました。
幸いに、人的被害等も無く、北部土木事務所により、早期の復旧を目指した作業が続けられていました。」

・こちらは、2020 年 7 月 8 日、高雄高山寺の駐車場から 300m ほど先の土砂崩れと倒木です。
https://www.facebook.com/groups/157004798284884/
2020 年 7 月 8 日 今朝方の大雨で 162 号線が通行止の現場写真です。
市内から京北方面、高雄栂尾高山寺駐車場すぎて少しいった所です。」の投稿です。
これには、「小野郷は笠トンネル手前(市内側)が少し土砂崩れだそうです」との情報がコメント欄に書き込みされていました。

・この場所についての投稿
「2020 年 7 月 11 日　現在 7 月 8 日発生した崖崩れ現場　162 号線の高雄栂尾高山寺駐車場先の 7 月 11 日時点の状況です。
JR バスも 13 日、月曜日から通常運行に戻る予定です」
4 日間の通行止めで、片道通行可能になりました。

② 近隣との通行止め実績比較

・このような美山地域の自然災害による通行止め件数は、近隣地域と比べてどの位の多いのか？調べました。
・2022 年度の京都府南丹土木事務所管内（南丹市、亀岡市、京丹波町）で発生した全面通行止め実績です。
崩土・倒木による全面通行止め総件数 23 件で、
内、美山出張所管内の発生は 9 件３９％の高率でした。
これには京都市のデータが入手できずに、反映していません。

・通行止めになるのは、どの程度の雨量か？調べました。
国土交通省と、京都府の HP には（「道路防災情報 WEB マップ（道路に関するハザードマップ)）以下の説明があります。
●事前通行規制区間（マップ、一覧表形式で提供している）は、
大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などを基にそれぞれ規制の基準等を定めて、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施する区間と、通行止めにする基準雨量がそれぞれ示されています。

◆連続雨量による通行規制基準及び過去の台風及び大雨による管理道路の通行止め箇所については、連続雨量による通行規制を行い、
大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などに基づき、それぞれ規制の基準を定めて、災害が発生する前に「通行止め」を行うものです。

③ 府道 12 号線

・これは、先程の道路図

国道 7 号線につながるのは、府道 12 号線は緑色の❹です。

西へ繋がる府道 12 号線。由良川に沿って大野を経て大野ダムを経て京丹波町和知へつながります。

が、その先が通行止め対象区間。

・今年 2023 年 8 月 15 日お盆に上陸した台風 7 号の際、美山と外界を結ぶ道路の事前通行止めとなったところです。

原発事故時の主要な避難路とされている

府道 12 号線大野ダムから和知経由で国道 27 号線のルートです。

府道 12 号線と国道 27 号線の交流点から、27 号線は南行きは連続雨量 150mm で通行止め対象区間です。

美山から外部へ出る道路

④ 次に、交通量の比較的多い国道 162 号線はどうか。

❶は、美山町から北へ堀越峠を越え、福井県おおい町名田庄へ繋がります。

❷は、同じ国道 162 号線で深見峠を越え京都市右京区京北町に繋がる赤色のルートです。

天気の良い日はバイクやドライブには最高なルートです。

しかし、雨には弱い区間です。

・国道 162 号線で北へ抜けるルートは、福井県おおい町から堀越峠を超え、美山町鶴ヶ岡盛里までが連続雨量 150mmで通行止めで、迂回路はありません。

原発事故時に美山住民が避難路とする可能性は低いですが、おおい町から南に向かうの避難路としては、唯一のルートで

・国道 162 号線で深見峠から京北町経由京都市内へのルートは、美山町内で峠の手前の集落、深見から先は連続雨量 150mm で通行止め対象です。

・国道 162 号線で美山町から京北町経由で京都市内へのルートは、深見峠から先の京北町と、京北町から高雄、京都市内へのルートは、その殆どが深く急な谷間を通るため連続雨量 150mm の通行止め区間です。

これは、京北町周山、細野間の通行止め区間。

・これは国道 162 号線笠トンネル以南。小野郷から高雄を超え、京都市北部クリーンセンター前までも、通行止め連続雨量 200mm。迂回ルートはありません。私自身も、大雨の時は土砂災害に巻込まれはしないかとビクビクしながら急傾斜の 162 号線を通っていました。

⑤ 府道 19 号線

・上平屋から南へ原川の谷に沿って原峠手前の神楽坂トンネルを抜け日吉を経由して園部に至る府道 19 号線です。

美山から外部へ出る道路

・普段、美山を通る大型トレーラーを含む車輌の流れは、福井県から 162 号線❶を通り府道 12 号線❹から旧美山町役場前を通り府道 19 号線❸に抜け、神楽坂トンネルを抜け日吉経由で園部方面へ向かうのが一般的です。

・府道 19 号線は、神楽坂の原トンネルを抜けた先から、日吉ダムを通って園部に出ます。しかし、日吉ダムの下流で、連続雨量 150mm で通行止め区間があります。

⑥ 府道 38 号線

・京都広河原美山線で、安掛から由良川に沿って茅葺きの里で有名な知井地区を通り、佐々里を通り佐々里峠から京都市左京区広河原へ抜ける道路で、知井と平屋を通る道路です。

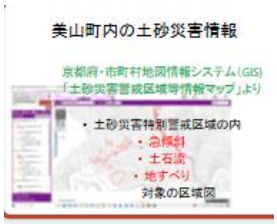
・先程紹介したとおり、急な山と谷の中に作られた道路で、当然、雨には弱く、連続雨量 150mm の通行止め対象区間です。

・佐々里峠の先、同じ環境です。

・これは、佐々里峠の先、左京区久多から安曇川へのルートで、連続雨量 160ｍｍでの通行止め対象区間です。

（６）美山町内の土砂災害警戒区域

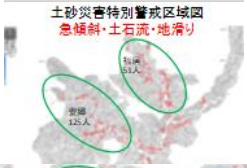
・以上、美山町から外へつながる道路を見ましたが、
次に、急斜面･急傾斜地が多い美山町が、土砂災害にどれ程弱いかを地区別に見ます。



以下の図は、京都府・市町村地図情報システム（GIS)「土砂災害警戒区域等情報マップ」で作成しました。
表示対象は、土砂災害特別警戒区域の内　急傾斜　土石流　地すべり
の対象となっている区域図です。

・美山町全体図です。赤枠が土砂災害警戒区域です
主要な道路や生活道路は、警戒地区の中を通っています。

・京都市も亀岡市も共に、盆地を構成する周辺部分に警戒区域がありますが、赤枠の密度は低く道路が塞がれる可能性は極めて低いことが判ります。



・鶴ヶ岡地区は、二つの谷に沿って国道 162 号線につながる生活道路があるが、至る所で道路が対象区域に入っている。
福居地区には 51 人、豊郷地区には 125 人が居住しています。

・宮島地区は、比較的地理的に開けた地域です。
他の地域よりは道路が警戒区域と重なる場所は少ないですが、
日吉経由で園部に通じる府道 19 号線の神楽坂トンネルに到る原地域に警戒区域が多い。

・大野地区も比較的谷幅の広い地域ですが、急な谷筋に危険箇所が集中しています。　河合地区には 48 人、音海には 10 人が住んでいます。河合地区は谷の奥に危険カ所がありますが、音海地区は地区と府道 12 号線を結ぶ道路の地区入口までが特別警戒区域指定です。

　緊急避難路指定の府道 12 号線は、大野ダム近くに土砂崩れ特別警戒区域があります。

・平屋地区も、比較的谷間の開けた地形です。
しかし、国道 162 号線の深見峠のルートは殆ど特別警戒区域です。
また知井方面への唯一のルートである府道 38 号線は、数カ所が特別警戒地区内を通っています。

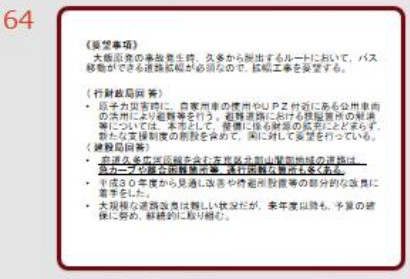
・知井の集落は、芦生、白石、佐々里の他に、河内谷と知見は道路が袋小路となっており、且つ、特別警戒区域を通らないと府道 38 号線には出られません。　知井地区の唯一の避難路となる 38 号線は、急斜面、急傾斜地を通るため特別警戒区域と重なる場所が多数あり、災害が起これば西(平屋方面）にも東南（佐々里峠方面)にも通行できなくなります。　田歌と芦生の出合橋の区間の殆どが切り立った急斜面の崖に張り付いた土砂崩れがある危険な区間です。

（７）原発事故時の避難計画は、現実無視

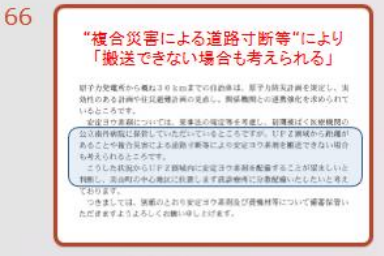
①・これは、内閣府の資料で、原発事故時の避難計画にある美山町からの避難経路図です。原発事故が起こるのは複合災害時の可能性が高いと考えられます。
「国道 162 号→府道 12 号→国道 27 号→国道 9 号」を主な避難経路としています。
美山町の住民を一旦西へ向かわせ、国道 27 号線から国道 9 号線に出て南へ向かう計画です。
しかし、それは極めて非現実的です。なぜならば、大雨や大雪と地震、台風と地震の複合災害が起こることを想定すると、美山町内の土砂災害警戒区域にある道路は寸断されてしまうことは確実だからです。美山から外部に通じる道路も、同様に、大雨、大雪と地震、台風と地震の複合災害が起こればひとたまりもなく、避難道路は土砂で埋まることになるでしょう。
・https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/documents/02genshiryoku-shiryo_compressed.pdf
京都府地域防災計画 原子力災害対策編 R3 年 6 月の図です。

美山町の南側に隣接する京都市右京区京北町からの避難経路図です。

主な避難経路として、
❶府道 110 号線
❷府道 38 号線
❸国道 162 号線が挙げられています。
この地域は、美山から峠を超えた先の地区になります。
ただし、この京北町の地域は、山奥のために道路状況が悪く、原発事故の避難路整備に関して地域住民からは毎年京都市への強い要望が出されています。



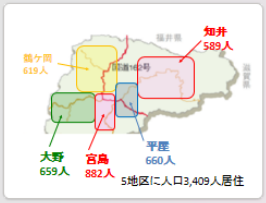
・これは地元久多学区の住民が、京都市との市政懇談会で提出した要望書と市の担当者の回答です。
京都市も「急カーブや離合困難場所等、通行困難な箇所も多くある」と認めています。
・京都市左京区久多地区住民はの「原発事故時の脱出ルートをバス移動できるように道路の拡幅が必須」と要望しています。
　京都市建設局は回答で「府道久多広河原線を含む左京区北部山間部地域の道路は、急カーブや離合困難箇所等、通行困難な箇所も多くある」と、道路状況のひどさを認めています。
工事は部分的には為されているが、山間部の道路は尚急カーブや離合困難カ所が有り、通行困難な場所が多く残されたままです。



②・再度、道路図です。
美山は周囲を山で囲まれた地理的に隔離された地域です。
原発事故は自然災害を契機に起きる場合を想定しますが、もし自然災害が起これば、美山につながる道路も、美山の中の道路も、被害を受け道路が寸断される可能性が高いのです。まして、地震を伴う複合災害を想定すると、美山各地で道路が土砂で埋まり、避難は不可能となるでしょう。
・冒頭、紹介したように美山診療所で安定ヨード剤を保管していましたが、南丹市から美山診療所を経営する法人宛の依頼書には、それまでの保管場所は公立南丹病院(現、京都中部医療総合センター)でしたが、事故後より速やかに住民配布ができるようにと、美山の中心部にある美山診療所で備蓄保管を依頼する旨の要請がりました。
◆そして、要請書には「UPZ 圏域からの距離があることや複合災害による道路寸断等により安定ヨウ素剤を搬送できない場合も考えられる」とあります。
複合災害による「道路寸断等」により「搬送できない場合」、すなわち、「美山とつながる道路が通行不能になる場合」を南丹市も想定しています。これが地域の実情を少しでも知っている者の自然な判断だと思います。

・改めて、2023 年 3 月 31 日現在の、美山の地域別人口です。
・美山町には 75 歳以上の後期高齢者だけでも 1000 人近い方が住んでいます。
・写真は、美山町内で在宅療養されている患者さんの訪問看護の様子です。
当然、こうして在宅で療養されている患者さんが美山に居ます。この方は狭い急な坂を上った先の家に住んでいます。厳冬期、降雪時には車は登れません。
知井地区田歌には、人工呼吸器をつけて自宅療養されている方もいます。
原発事故が起これば、こうした寝たきりの患者さん達はどうなるのか？

67

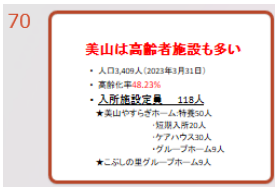


68

69

・美山には特養、ケアハウス、グループホームが、短期入所など高齢者の入所施設は 5 施設 118 名の定員があります。
他に 2 法人が経営する障碍者施設として、通所型と入所型施設と利用者の寄宿舎、グループホームがあります。
・介護保険施設以外にも障碍者福祉施設もあります。
避難する道路がなければどれだけ元気な人であっても、逃げられません。
まして、自力で避難できない介護施設や障碍者施設の利用者、入所者が安全に避難できる保障がどこにあるのでしょうか？

70

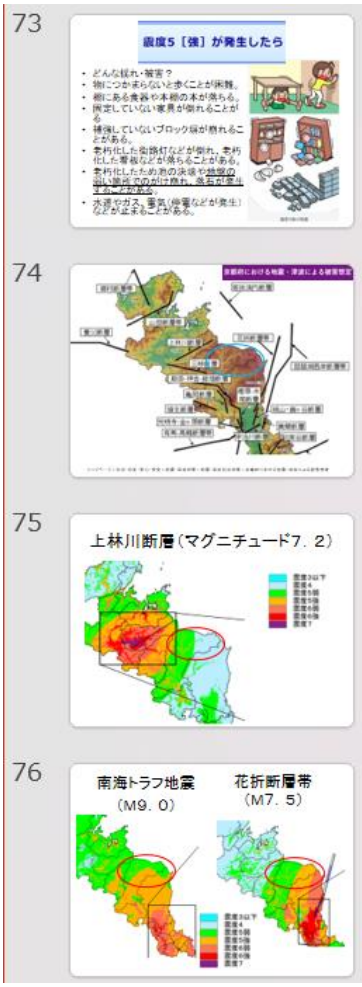


71

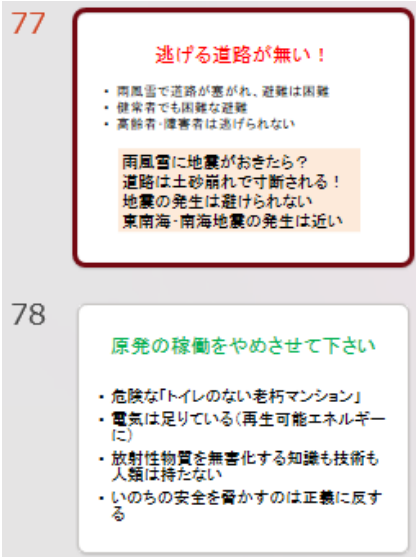
③　地震大国・日本　地震は起こる
・内閣府、気象庁等が発表した情報を元に、防災科学技術研究所（地震ハザードステーション）が運営している「事件・事故・災害アーカイブ」によれば、図のように近年地震活動は活発化してきています。
＊総務省消防庁 HP によれば、世界のわずか０.２５％程の陸地面積の日本列島に、世界の１５％近い地震が発生していると言われています。特にマグニチュード６以上の地震では、約２２％が発生しています。
＊日本では必ず大きな地震が起こります。
こんなところに、原発を建設すること自体が、大きな間違いです。

72

・総務省の例話３年度版消防白書」は、「災害の頻発化・激甚化」の項を起こして、
「近年、豪雨災害の危険を及ぼす大雨の発生頻度が大幅に増加しており、それに伴う土砂災害の発生回数も増加傾向にある。」
と指摘しています。
　これは、震度５強の揺れを説明したもので、総務省の HP からです。　がけ崩れ、落石発生についての注意があります。
・京都府は、府域へ影響が懸念される活断層（22 断層）による地震及び東南海・南海地震について地震被害想定調査を実施し、平成 20 年に公表しています。　京都府防災情報の断層地図です。美山の周囲には◆北に若狭湾内断層、◆西に上林川断層、◆南に三峠断層、殿田・神吉・越畑断層、◆東に花折断層　など多くの活断層があります。
・美山の西側、上林川断層が動けば、大野ダムの当たりが震度５強、美山の西半分は震度５弱と強い揺れが予想されています。主な避難路の府道１２号線、和知方面が不通になることが想定されます。
・南海トラフ地震（左の図）では、美山町全体は震度５弱、南部は震度５強と全体で強い揺れが予想されています。
花折断層帯の地震（右図）では、美山町全体が震度５弱、東部は震度５強と全体で強い揺れが予想され、土砂崩れの多発による甚大な道路交通被害が見込まれます。急傾斜急斜面を走る府道３８号線は壊滅的な被害になるのではないでしょうか？



（８）逃げる道路が無い！
①原発事故が起きたとき、美山では逃げる道路が無い！という事態が発生する可能性が高いのです。
・普段から少し多めの雨風雪で道路が塞がれる美山です。　避難路が塞がれたら、健常者でも避難はできません。　まして、高齢者･障害者は逃げられないのは明白です。
　美山では、災害級の大雨や大雪、強風とまではいかなくても、それらと地震とが起きれば、複合災害で倒木や土砂崩れが発生しやすいのです。美山はいたるところで幹線道路も生活道路も倒木や土砂にふさがれ寸断されるでしょう。
原発事故が起きたら、安全に避難できる保障は全くありません。



地震国日本で、地震の発生は免れられません。
東南海・南海地震は近い将来高い確率で起きるといわれています。
総務省消防庁は防災のページで「いつでもどこでも起こりうる大地震」と見出しを付け

て「大地震が日本各地で、いつでもどこでも起こりうることを念頭に」と「対処が必要です。」と呼び掛けています。
＊災害に弱い美山の地理的な条件は根本的には改善・変更は困難です。しかし、仮に道路が寸断されても、「外部へ避難しなくてもよい」環境、すなわち「原発を動かさない環境」を作ることが、総務省が呼びかける必要な「対処」です。

②大飯原発に限らず原発は、「トイレの無い老朽マンション」です。
放射線で金属が脆弱化している 40 年前の機械です。
いつ事故が起こっても不思議ではないと考えています。

使用済み核燃料の最終処理と保管方法も決まらない、科学的には極めていい加減で、危険な代物です。
政府も電力会社も、昨年夏まで原発発電がないから電気が足らないと盛んに節電を煽っていたのに、酷暑の今年はどうでしょうか？一言も言わなくなっています。電力は足りていることの証左ではないかと考えています。

電力は私たちにとって必要不可欠ですが、原発による電力は「百害あって一利なし」です。

私たちが危険且つ不合理極まりない原子力発電によらず、再生可能、自然エネルギー発電を進め、安全安心な日常生活を求めること、幸福な人生を求めることは、日本国憲法に保障された当然の権利だと思います。

原発事故は、一旦起これば、現在の人類の技術では進行する核分裂をコントロールできません。発生する放射性物質を無害化する知識も技術も人類は持っていません。

最後に「地上のすべての生物のいのちと安全を脅かす」危険極まりない大飯原発の運転を停止させる判決を出して頂けるよう、心からお願いして、原告、原龍治の意見陳述を終わります。
ありがとうございました。

以上